



「ラファエル前派の軌跡」

「自然に忠実であれ」。イギリスの美術評論家ジョン・ラスキンは、対象をしっかりと観察し、素描することで、ものの本質に迫ることができると考えました。その信念は、風景画を刷新したターナーをはじめ、旧来のアカデミズムからはずれた若い芸術家たちを守り育て、やがて世界規模で広がるアーツ&クラフツ運動の芽生えを促すこととなります。ラスキン生誕 200 年に開催される本展では、ラスキンが擁護したターナー、初期「ラファエル前派」のロセッティ、ミレイ、次の世代にあたるバーン=ジョーンズ、ウィリアム・モリスらを軸に、絵画や素描、共同制作したステンドグラスや家具など、バラエティに富んだ 150 点を展示します。次々と花開く 19 世紀イギリスの芸術、そして、人と自然が織りなすドラマをお楽しみください。

展覧会名	ラファエル前派の軌跡 ターナー、ラスキンからロセッティ、バーン=ジョーンズ、モリスまで
会期	2019年6月20日(木)～9月8日(日) 月曜休館(ただし、7月15日・8月12日は開館)
作品数	約150点
会場	久留米市美術館(本館2階)
主催	久留米市美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送
監修	クリストファー・ニューオル、スティーヴン・ワイルドマン
企画協力	インディペンデント、アルティス
後援	ブリティッシュ・カウンシル、久留米市教育委員会
協賛	スペシャルパートナー：株式会社ブリヂストン オフィシャルパートナー：学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、 株式会社森光商店
入館料	一般1,000円(800円) シニア700円(500円) 大学生400円(200円) 高校生以下無料 ※()内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上 ※前売券600円あり
開館時間	10:00-17:00(入館は16:30まで) ※7月17日(水)・8月18日(日)は18:30までの延長開館(入館は18:00まで)
交通案内	JR博多駅よりJR久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分 福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関する お問い合わせ	久留米市美術館(公益財団法人久留米文化振興会) 展覧会担当：佐々木奈美子 広報担当：中山景子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015(石橋文化センター内) TEL0942-39-1131 / FAX0942-39-3134



展覧会の見どころ

Section 1. Ruskin and Turner

第1章 ラスキンとターナー 見て、描く～なにものをも退けず、なにものをも選ばず誕生プレゼントの本にあったターナーの挿絵を、飽かず眺めたジョン・ラスキン。ターナーは、空気の湿度にまで迫る勢いで風景表現を深めていきます。その真価がなかなか理解されない状況に、青年ラスキンは敢然と立ち上がりました。素描とペンを武器として。



① ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー
《カレの砂浜-引き潮時の餌採り》1830年



② ジョン・ラスキン
《樹木と岩》1845年頃



③ ジョン・ラスキン
《高脚アーキヴォールト：カ・フォスカリ川岸、ビザンツ帝国期の廃墟-ヴェネツィア》1849年

Section 2. The Pre-Raphaelite Brotherhood

第2章 ラファエル前派 女神か魔女か～運命の物語

1848年、画学生ら7名が「ラファエル前派同盟」を結成。あえてルネサンスの巨匠「ラファエロ」の名を出すことで、伝統的な絵画の手法に盲従することへの疑問を投げかけたのです。未熟な、しかし熱い若者たちの運動に、すぐさまラスキンは呼応し、擁護の論陣を張りました。それはやがて、現実の交友へとつながっていきます。



④ ジョン・エヴァレット・ミレイ
《滝》1853年



⑤ ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ
《ウェヌス・ウェルティコルディア
(魔性のヴィーナス)》1863-68年頃



⑥ アーサー・ヒューズ
《ブラッケン・ディーンのクリスマス・キャロル
-ジェームズ・リサート家》1878-79年



Section 3. Pre-Raphaelite friends and associates

第3章 ラファエル前派周縁 自然に忠実に～森羅万象から良いものを

良く観察して描くべきだというラスキンの主張は、「ラファエル前派」と名乗ったグループ内にとどまらず、同時代の様々な作品の背後に息づいています。対象の細部までを捉えようとする誠実さが、ものの持つ本質を浮かび上がらせるとでもいうように。



⑦ ウィリアム・ヘンリー・ハント

《ヨーロッパカヤクグリ》

1840年頃



⑧ ウィリアム・ダイス

《初めて彩色を試みる少年ティツィアーノ》

1856-57年



⑨ フレデリック・レイトン

《母と子（サ克蘭ボ）》

1864-65年頃

Section 4. Edward Burne-Jones

第4章 エドワード・バーン=ジョーンズ 共同作業～それは陽気な大冒険

バーン=ジョーンズは、初期の「ラファエル前派」に影響を受けた世代の一人。ロセッティに師事し、ラスキンの助言を受け、後には物語性と象徴性が溶け合うような作風に至ります。彼の創作の原点は、仲間たちとの共同作業でした。なかでも、モリスとの共作は人生の最期まで途絶えることなく続けられます。



⑩ 《慈悲深き騎士》1863年



⑪ 《ピュラモスとティスベ》1872-76年



⑫ 《赦しの樹》1881-82年

Section 5. William Morris and the decorative art

第5章 ウィリアム・モリスと装飾芸術

ポケットに大聖堂を〜中世の職人を夢見て

ラスキンの理想を、仕事によって現実のものとしたのがウィリアム・モリスでした。限られた層に向けた芸術よりも、世の中のためになる製品を生み出す職人であろうとし、「デザイン」という新しい地平を切り拓きました。ラスキンからモリスに受け継がれた手仕事を大切にすることは、その後、アーツ&クラフツ運動として広がっていきます。



⑭モリス商会

《装飾用織物-イチゴ泥棒》1883年

⑬モリス・マーシャル・フォークナー商会

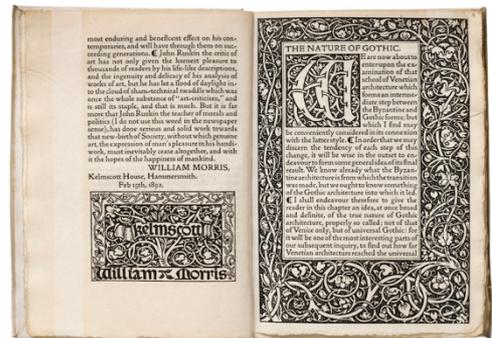
《トレリス(格子垣)》

1862年(デザイン)

⑮ケルムスコット・プレス

ジョン・ラスキン「ゴシックの本質」

1892年



関連イベントのご案内

- ① 記念講演会 本館1階多目的ルーム／申込・参加費不要／定員70名(先着順)

「ラファエル前派と日本一驚きの軌跡」

日時：7月7日(日) 14:00 (13:30開場) -15:30

講師：河村錠一郎氏 (一橋大学名誉教授)

- ② 美術講座 本館1階多目的ルーム／申込・参加費不要／定員70名(先着順)

「西洋美術の主題-神話・キリスト教図像の19世紀」

日時：8月24日(土) 14:00 (13:30開場) -15:30

講師：佐々木奈美子 (担当学芸員)



③ みゆ〜ず講座 石橋文化会館小ホール／**要申込み・参加費**

「西洋美術の主題—アーサー王伝説とラファエル前派」

日 時：7月25日（木）14：00（13：00開場）-15：00

講 師：佐々木奈美子（担当学芸員）

参加費：一般 1000 円 みゆ〜ず・スタンダード会員 500 円 *展覧会入場料を含む

*みゆ〜ず・ミュージアム会員は無料

申込方法：石橋文化センター友の会窓口で直接予約、または、電話予約

*お問合せは石橋文化センター友の会窓口へ（0942-33-2271）

④ ワークショップ 石橋正二郎記念館2階多目的ルーム／**要申込み・参加費**

「わくわく！バーン=ジョーンズのスタンドグラスを完成させよう」

日 時：8月3日（土）13：00-16：00

内 容：展示中のバーン=ジョーンズの下絵を元に、みんなで大きなスタンドグラス風の作品を作ります。完成作は園内に掲示します。

講 師：瀬戸口朗子氏（洋画家）

対 象：小学生〜一般

定 員：15組（1〜3名のグループ申込み可。小学生のみ参加の場合は引率者が必要）

参加費：500円／人 *小品の持ち帰りあり

申込方法：代表の方（小学生のみ参加の場合は引率者）の氏名（フリガナ）・住所・連絡のとれる電話番号、参加希望人数とそれぞれの年齢(学年)を明記の上、ハガキまたは FAX で久留米市美術館まで。7月16日(火)必着。

*結果は7月20日(土)までに応募者全員にお知らせします。

⑤ ギャラリートーク 本館2階エントランス／**申込不要／要展覧会チケット**

毎週土曜日（8/3, 8/24を除く）、日曜日（7/7, 8/11を除く）14：00から約20分

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
6. 掲載見本を必ず1部お送りください。